

1 コロナ禍における学校教育について

臨時休業の判断について考え方

文科省の衛生管理マニュアルでは、学校で感染者が発生した場合でも、臨時休業は濃厚接触者の特定や検査実施に必要な日数等で足り、現在は1～3日の臨時休業後の学校再開が一般的であることを示している。

市内小中学校の授業時数の確保について

夏季休業の短縮、諸行事の精選及び簡素化による取組時間の短縮、指導内容の重点化、1日のコマ数を増やす等により、2学期の前半には取り戻せる見通しが立っている。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策について

- ・家庭と連携した健康管理。(登校前の検温、十分な睡眠、バランスの取れた食事)
- ・水筒持参とこまめな水分補給。
- ・熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、気温・湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外す。※マスクを外す場合は、人と十分な距離を確保する、会話を控えることに留意する。
- ・登下校時の帽子の着用、日傘の使用。(冷却グッズの使用可)
- ・エアコン使用時においても換気は必要なことから、教室の窓を開けて使用。
- ・体育等の授業は、体育館・屋外を問わず外気温を考慮し、状況によっては授業時間の入れ替え等を行い、気温の低い時間に実施。

(2) 学びの保障と教職員の多忙化解消に係る人的配置について

- ・8月20日以降、随時運用開始。
 - ①少人数授業などきめ細かな指導加配(1人)【県】
児童生徒の学習支援に従事
 - ・小学校6年生における少人数編成による学習指導
 - ②学力向上支援スタッフ(39人の予定)【市】
児童生徒の学習支援に従事
 - ・家庭学習の教材等準備、提出物の採点、授業準備の補助
 - ・個別指導及び全体指導の補助(TT指導、少人数指導)
 - ・放課後や長期休業中などを活用した補習授業 等
 - ③スクールサポートスタッフ(18人の予定)【市】
教員の業務の補助
 - ・学校施設の消毒作業や清掃作業等
 - ・来客・電話対応、学習プリントの印刷、授業準備の補助 等

(3) 学校行事について(資料1)

- ・学園祭・運動会については、簡素化(来賓招待なし、種目の精選等)、時間を短縮(半日程度)して実施。
- ・修学旅行、自然教室については、感染防止対策を徹底するとともに、旅行先や活動内容を考慮しながら実施。

(4) ICT環境の整備について(資料2)

資料1 (3)学校行事について

1 市内小中学校 運動会・学園祭予定

学校名	文化祭	運動会・体育祭
石和南小		9月26日
石和東小		9月26日
石和北小		9月26日
富士見小		9月26日
石和西小		9月26日
御坂西小		9月19日
御坂東小		9月26日
一宮西小		9月26日
一宮南小		9月26日
一宮北小		9月26日
八代小		9月19日
境川小		9月26日
春日居小		9月26日
芦川小		9月18日
石和中	9月11日PM	9月11日AM
御坂中	9月10日	9月11日
一宮中	合唱祭として実施予定(11月予定)	9月11日
浅川中	9月12日	9月13日
春日居中	合唱祭として実施予定(11月予定)	9月11日

2 市内小中学校 修学旅行予定(2泊3日)

学校名	開始日	旅行先都道府県名
石和南小	11月17日	神奈川・静岡
石和東小	10月6日	神奈川・静岡
石和北小	10月6日	神奈川・静岡
富士見小	10月7日	神奈川・静岡
石和西小	11月16日	静岡
御坂西小	11月10日	神奈川・静岡
御坂東小	11月11日	東京・神奈川・千葉
一宮西小	11月25日	東京・神奈川
一宮南小	10月13日	神奈川
一宮北小	10月7日	神奈川・静岡
八代小	9月30日	神奈川・静岡
境川小	10月21日	神奈川・静岡
春日居小	10月5日	静岡
芦川小	11月10日	東京・神奈川・千葉
石和中	12月18日	京都・奈良
御坂中	12月21日	京都・奈良
一宮中	12月13日	京都・奈良
浅川中	11月23日	京都・奈良
春日居中	12月2日	京都・奈良

3 市内小学校 自然教室予定(1泊2日)

学校名	開始日	行先
石和南小	10月7日	八ヶ岳少年自然の家
石和東小	11月6日	八ヶ岳少年自然の家
石和北小	11月9日	八ヶ岳少年自然の家
富士見小	11月11日	八ヶ岳少年自然の家
石和西小	10月6日	八ヶ岳少年自然の家
御坂西小	10月22日	八ヶ岳少年自然の家
御坂東小	7月1日	実施済(八ヶ岳少年自然の家)
一宮西小	9月4日	八ヶ岳少年自然の家
一宮南小	6月18日	実施済(八ヶ岳少年自然の家)
一宮北小	10月15日	甲州市大和自然学校
八代小	9月11日	八ヶ岳少年自然の家
境川小	11月8日	八ヶ岳少年自然の家
春日居小	9月6日	八ヶ岳少年自然の家
芦川小	7月22日(宿泊を伴わない全校児童によるキャンプ。雨天のため中止。)	芦川オートキャンプ場

1 大型提示装置及び教師用タブレットの整備

大型提示装置		教師用タブレット端末
普通教室	特別教室	
198台	26台	300台 ※今回整備する大型提示装置224台(198台+26台)+整備済76台分

黒板と大型モニターを活用した授業により、児童生徒の学習理解と意欲の向上を図る。大型モニターにはデジタル教科書や教材を映し、デジタルのメリット生かした動画や音声、教科書のQRコードを活用し、授業の充実を図る。【9月納入】

2 GIGAスクール構想による児童生徒用一人一台端末と校内LANの整備

(1) 児童生徒用端末の整備

児童生徒数	既整備分	整備台数 (児童生徒数－既整備分)
4,924人	689台	4,235台

すべての児童生徒に、一人一台端末（タブレットPC）を整備する。「これまでの教育実践×ICT活用」により学習活動の一層の充実を図り、超スマート社会（Society5.0）に対応した教育を推進する。

【9月1日県の共同調達により入札。市議会議決後に本契約。】

(2) 校内LANの整備

市内すべての小中学校の校内に、LANケーブルやアクセスポイント等を設置し、無線環境の整備を行う。このことにより、校舎内の場所を選ばずに、インターネットに接続できる環境が実現できる。

【小中学校を5エリアに分けて工事。令和3年2月中旬までに完了。】

(3) 家庭でのオンライン学習環境の整備

家庭用 モバイルルータ	学校遠隔学習用 カメラ・マイク
192台	各校1台

Wi-Fi環境が整っていない家庭にモバイルルータを貸し出し、学校側の通信装置等を活用したオンライン授業を実施することで、緊急時における長期休業中の学習を保障する。【9月補正対応】

2 学校施設の現状と今後の課題について

(1) 学校施設修繕費の状況

市内 19 の小中学校については、建築から 40 年以上経過した建物が大半を占めており、様々な部位や箇所での老朽化が進んでいる。過去 3 年間の修繕費の年平均額は、小学校費は約 27,411 千円、中学校費は約 11,239 千円で、小中学校の合計では約 38,650 千円となっており、毎年多額の修繕費が発生している。このところ各種設備など、耐用年数の経過から突発的な修繕が増加しているため、計画的な更新に努めている。

□学校別修繕費集計表

(単位：千円)

学校名	H29 年度	H30 年度	R 元年度	合計
石和南小	784	3,256	1,552	5,592
石和東小	4,473	1,725	2,134	8,332
石和北小	1,440	1,520	3,085	6,045
富士見小	2,802	2,957	2,599	8,358
石和西小	1,444	807	888	3,139
御坂西小	1,379	2,757	1,301	5,437
御坂東小	4,073	2,533	1,149	7,755
一宮西小	876	1,219	1,149	3,244
一宮南小	2,165	850	1,532	4,547
一宮北小	2,122	2,892	2,017	7,031
八代小	2,700	1,542	1,797	6,039
境川小	2,744	4,908	2,979	10,631
春日居小	1,200	1,038	2,029	4,267
芦川小	664	579	573	1,816
小学校計	28,866	28,583	24,784	82,233
石和中	4,878	1,177	4,219	10,274
御坂中	3,436	2,293	2,508	8,237
一宮中	1,698	625	1,354	3,677
浅川中	1,606	5,619	1,393	8,618
春日居中	881	938	1,091	2,910
中学校計	12,499	10,652	10,565	33,716
小中学校計	41,365	39,235	35,349	115,949

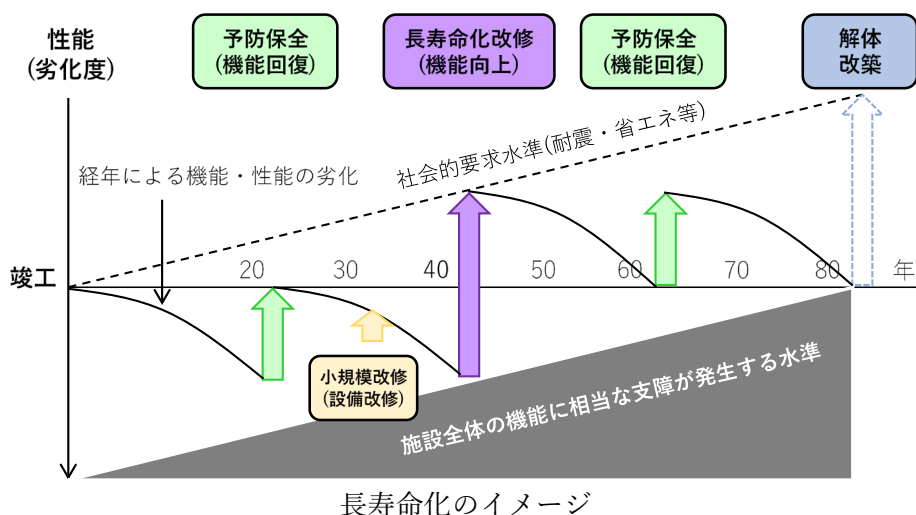
(2) 笛吹市学校施設長寿命化計画

○学校施設（小中学校 19 施設、共同調理場 5 施設）の老朽化対策として、求められる教育環境の確保とともに、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を目的に、令和 2 年 3 月に計画を策定。（計画期間は、令和 2 年度から令和 31 年度までの 30 年間）

○学校施設の目指すべき姿は、「安全性」「快適性」「学習活動への適応性」「環境への適応性」「複合的利用の促進」の 5 項目を設定

○計画策定にあたっては、「児童生徒数」「学校施設の保有量」「今後の維持・更新コスト」「学校施設の老朽化状況」など、学校の実態を把握

○「笛吹市公共施設等総合管理計画」における基本方針等を踏まえ、学校施設整備は、校舎構造躯体の健全性が保たれている場合、コスト縮減と予算の平準化が可能となる「長寿命化改修」を基本的な方針とし、予防保全と計画的な改修により、目標使用年数を 80 年に設定



○改修等の優先順位付けの考え方

- ・原則、健全度の値が小さい建物から改修等を実施
- ・各年度の維持、管理コストが極力平準化されるよう、改修等の実施時期を調整
- ・児童生徒数の減少により、学校施設の規模、配置の見直しが必要とされる学校は、当面その動向を注視し、改修等を実施
- ・児童生徒数の動向を見極めながら、改修内容とその実施時期の変更を検討
- ・定期的に現地調査による老朽化状況を確認し、想定以上に劣化等が進行している場合は、優先順位の変更を検討

○直近5年の改修計画

【令和2年度】

富士見小屋内運動場、御坂西小校舎、八代小校舎

【令和3年度】

浅川中校舎（長寿命化改修）、一宮北小校舎、春日居小屋内運動場

【令和4年度】

石和南小屋内運動場、石和北小校舎・屋内運動場

【令和5年度】

一宮南小校舎、境川小校舎、石和中校舎、春日居中校舎

【令和6年度】

御坂東小校舎、一宮北小屋内運動場、境川小屋内運動場

○厳しい財源状況などの課題対応のためには、市保有の他の公共施設を含め、施設の複合化・統合等の方策や、民間が持つノウハウや資金の活用を図る PPP/PFI 等を併せて検討

(3) 特別教室への空調設置について

近年は地球温暖化等の影響により、気温が35℃を超える猛暑日となる日が増加しており、児童生徒の快適な学習環境の確保が大きな課題となっている。本市小中学校の空調設備設置状況は、普通教室は98.9%、特別教室は42.4%で、すべての特別教室へ整備がされていない状況にある。現在は毎年1~3か所の特別教室へ整備を行っているが、一括整備等に向けては事業手法等の検討が必要である。

□公立学校施設の空調（冷房）設備の設置状況（文部科学省調べ R元年9月1日現在）

設置者名	普通教室	特別教室	合計
笛吹市	98.9%	42.4%	76.8%
山梨市	100.0%	72.0%	84.8%
南アルプス市	100.0%	59.9%	81.8%
北杜市	68.4%	31.8%	48.9%
甲斐市	78.0%	77.5%	77.8%
甲州市	99.3%	18.5%	55.9%
中央市	99.2%	46.2%	73.1%
山梨県平均	83.1%	58.1%	71.0%
全国平均	77.1%	48.5%	62.8%

(4) トイレの洋式化について

学校施設のトイレについては、ほとんどの家庭で洋式トイレが普及している中で、全国的にもまだまだ洋式化の整備が進んでいない状況にある。本市の洋式化率は、52.7%となっており、現在は各校の大規模改修時に検討することとしているが、早期の整備に向けては、事業手法等の検討が必要である。

□公立学校施設のトイレの状況調査（文部科学省調べ H28年4月1日現在）

設置者名	洋式化率
笛吹市	52.7%
山梨市	59.2%
南アルプス市	47.0%
北杜市	52.2%
甲斐市	53.8%
甲州市	56.7%
中央市	48.4%
山梨県平均	54.4%
全国平均	43.3%

(5) その他の課題

- 学校プールの老朽化対策（学校プールの民間活用等）
- 特別支援教育に係る施設改修
- 指定避難所とされている学校の安全性の確保・防災機能の強化
- 25人学級への対応